

「Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022」 の公募について

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、中堅アーティストを対象とした現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022」の公募を以下のとおり行います。

この賞は、昨年度創設され、今回は第2回目の公募となります。

前回の受賞アーティスト（2名）に対しては、今年度より2年間にわたる支援を行っています。

1 応募資格

以下の条件をすべて満たす方（グループの場合、全員が条件を満たすこと）

- (1) 日本に居住する方あるいは国内に活動拠点のある方
- (2) 現代美術の分野で活動するアーティスト（ジャンル不問）
- (3) 国内外で個展、グループ展への参加が概ね10件以上あり、概ね10年以上の活動歴がある方
- (4) 海外での活動に意欲があり、令和2(2020)年3月に開催予定の授賞式、令和2(2020)年度の海外での活動、および令和3(2021)年度末の東京都現代美術館でのその成果を含む作品発表(展覧会)が可能な方
- (5) 一次選考に進んだ場合、英語での書類提出及び令和2(2020)年2月(予定)に開催する選考委員によるスタジオ訪問・面談に参加できる方

2 応募申込み期間

令和元(2019)年7月1日(月曜)から8月7日(水曜)まで

3 選考から受賞後のスケジュール(予定)

令和元(2019)年9月～令和2(2020)年2月中旬	審査(最終選考ではスタジオ訪問及び面談を実施)
令和2(2020)年2月下旬	受賞者の発表
令和2(2020)年3月下旬	授賞式
令和2(2020)年度中	海外での活動
令和4(2022)年3月	東京都現代美術館での展覧会

【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課

電話 03-5245-1142

4 その他

- (1) 応募方法等の詳細は別添募集要項または Tokyo Contemporary Art Award の特設ウェブサイト (https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/news/application_2020-2022.html) をご覧ください。
- (2) 賞の概要及び選考委員につきましては別紙をご覧ください。



【参考】前回 (Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021) について

(1) 受賞者

風間 サチコ(かざま さちこ)

1972 年東京都生まれ。木版を中心に作品を制作。様々なモチーフが盛り込まれた巨大な木版画は、歴史画のような壮大さを持ち合わせている。

下道 基行(したみち もとゆき)

1978 年岡山県生まれ。旅やフィールドワークをベースに制作活動を行う。2019 年「第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ」参加。

(2) 受賞者の今後の予定

令和元(2019)年度 海外での活動 (旅費、滞在費、調査・制作費等支援)

令和3(2021)年3月 東京都現代美術館での展覧会



授賞式の様子(平成 31 年4月)



スタジオ訪問の様子

「2020 年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020 年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマートシティ 政策の柱8 芸術文化の振興」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を創設することで、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

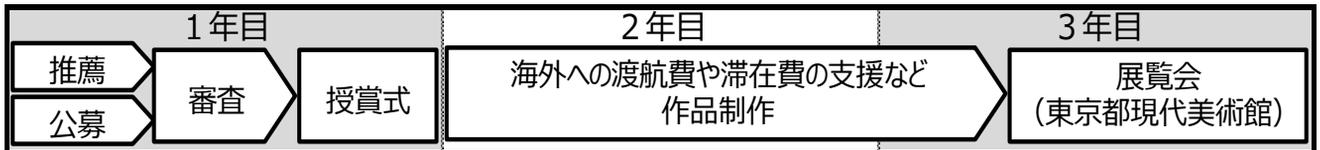
- ・アトリエ訪問や面談により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2名とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作）

【賞のスケジュール】



Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 選考委員（予定）

（順不同／敬称略）

神谷 幸江	ジャパン・ソサエティ、ニューヨーク ギャラリー・ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長／東京芸術大学大学院准教授
ドリュン・チョン	M+ 副館長／チーフ・キュレーター *
マリア・リンド	キュレーター、ライター、エドゥケーター
キャロル・インハルバー	北京インサイドアウト美術館 ディレクター
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、平成31(2019)年4月時点のものです。

* M+ : 香港にある世界最大級の美術館や映画館などを含む複合施設（2020年グランドオープン予定）

「Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022」公募 募集要項

■募集内容

2018年に東京都とトーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）は、海外での活動に意欲をもつ中堅アーティストを対象とした新たな現代美術の賞を創設しました。

本賞の受賞者には賞金のほか、翌年度内の海外での活動支援および翌々年度の東京都現代美術館での成果／受賞展の開催など、継続的な活動支援を行います。

本賞は選考委員による推薦と公募を併用し、選考委員によるリサーチや書類審査、インタビューなどを経て2名の受賞者を決定します。

■応募資格

以下の条件をすべて満たす方（グループの場合、全員が条件を満たすこと）

- (1) 日本に居住する方あるいは国内に活動拠点のある方
- (2) 現代美術の分野で活動するアーティスト（ジャンル不問）
- (3) 国内外で個展、グループ展への参加が概ね10件以上あり、概ね10年以上の活動歴がある方
- (4) 海外での活動に意欲があり、2020年3月に開催予定の授賞式、2020年度の海外での活動、および2021年度末の東京都現代美術館でのその成果を含む作品発表（展覧会）が可能な方
- (5) 一次選考に進んだ場合、英語での書類提出及び2020年2月（予定）に開催する選考委員によるスタジオ訪問・面談に参加できる方

■支援内容

受賞者は2名とし、それぞれに以下の支援を行います。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示／2021年度末予定）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記(3)の展示にあわせて制作／2021年度末予定）

■選考委員（予定）※肩書きは、2019年4月時点のものです。

神谷幸江（ジャパン・ソサエティー、ニューヨーク ギャラリー・ディレクター）

住友文彦（アーツ前橋 館長／東京藝術大学大学院 准教授）

ドリユン・チョン（M+ 副館長／チーフ・キュレーター）

マリア・リンド（キュレーター、ライター、エデュケーター）

キャロル・インハ・ルー（北京インサイドアウト美術館 ディレクター）

近藤由紀（トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター

（公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長）

■応募期間

応募申込み期間：2019年7月1日(月) から 2019年8月7日(水) 18:00（日本時間）まで

作品データ提出期間：2019年7月1日(月) から 2019年8月14日(水) 23:00（日本時間）まで

■応募方法

(1) Tokyo Contemporary Art Award の特設ウェブサイト(www.tokyocontemporaryartaward.jp) よりアプリケーションパッケージをダウンロードしてください。

(2) アプリケーションパッケージ内の「応募書類・資料作成マニュアル」をご確認の上、アプリケーションフォームをメール添付にてご送付ください。

【送信先】 apply_tcaa2019@tokyoartsandspace.jp

【メール件名】 お名前（フルネーム）：Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 応募

【締切】 2019年8月7日（水）18:00 必着（日本時間）

(3) メール受信後4営業日以内に、トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）より資料提出先 URL をお知らせします。締切期日までに指定のリンク先に作品リストをアップロードしてください。

【締切】 2019年8月14日（水）23:00 必着（日本時間）

※応募後の応募用紙、資料の差し替え・変更は受け付けておりません。

■応募にあたっての注意事項

※芸術に関わる専門家（学芸員、批評家、大学教員など）2名の推薦者の情報を記入してください。

※国際選考委員による審査のため、一次選考に進んだ方には英語での書類（アプリケーションフォーム・作品リストと同等の内容の審査用書類及びポートフォリオ(任意))作成依頼を改めてTOKASよりご連絡させていただきます。

※指定したフォーマットや方法以外で応募された場合、審査対象外となる場合があります。

※提出資料は、一定期間保管後、処分させていただきますのでご了承ください。

■選考方法及びスケジュール

(1)一次選考：対象者には、10月中旬（予定）迄に英語での書類提出をお願いいたします。

※結果は対象者全員に12月上旬（予定）に個別にご連絡いたします。

(2)最終選考（スタジオ訪問及び面談）：2020年2月中旬（予定）

※結果は最終選考参加者すべてに個別にご連絡いたします。

(3)受賞者の発表：2020年2月下旬（予定）

※選考の経緯、結果に関する個別の問い合わせは受け付けておりません。

■問い合わせ

本公募のお問合せについては、2019年7月16日（火）までに下記Email宛にお送りください。質問への回答は、2019年7月23日（火）以降にウェブサイトにて公開します。

Email： tcaa@tokyoartsandspace.jp

※原則として、個別での回答は行っておりません。また、お電話でのお問合せはご遠慮ください。

■個人情報について

応募に際して提出いただいた個人情報は、本公募事業の業務目的及び展覧会、イベントのご案内など、TOKASからの情報提供のために利用させていただく場合があります。応募者の個人情報をこれら正当な目的以外に無断で使用することはありません。

■「Tokyo Contemporary Art Award」スケジュール（予定）